



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした
天栄だからできる少人数教育

教育委員会だより

No.99

2019.10.25



愛村心（！尊心）を育む天栄村！

発行：天栄村教育委員会

学校運営協議会委員による学校訪問

9月3日（火）に「学校運営協議会」を開催しました。今回は、牧本小学校、湯本小学校、湯本中学校を訪問し、授業の様子や施設見学を行うとともに、牧本小学校で子どもたちと一緒に給食を食べた後、村内全ての小中学校長も参会して、各校のもつ課題や改善策等について協議しました。

<今回の主な協議内容>

- ・ 教職員の時間外労働の解消について
- ・ 学校施設の老朽化、維持管理について
- ・ 児童生徒数や教職員数の減少に伴う教育活動に維持について
- ・ 地域の人材等と連携した教育活動の在り方について
- ・ 地域の行事等を維持発展させていくための学校の関わりについて



特に、学校規模の縮小による問題は、学校だけでは解決できないものが多くあります。例えば、教員の出張が重なった際に十分な補欠授業体制をとることができないことや今まで行ってきた行事の縮小や削減をしなければならぬこと、校庭の除草が十分に行えないなど、様々な点が挙げられます。

これら諸問題の解決には、地域の人材や企業等と連携した教育活動を行うことが求められてきます。委員の方々から、様々な視点で課題解決に向けた提案がなされました。また、各校長からは、各校で行っている効果的な取組について紹介されました。さらに、地域のもつ困り感に対し、子どもたちも地域の方と一緒に課題解決に取り組む学習を進めていくことも、郷土愛や課題解決力、コミュニケーション力を育む上で大切ではないかという意見もあり、今後の教育活動を見直す視点として提案されました。

★ 天栄村小・中学生発明工夫展 ★

9月20日（金）に、「天栄村小・中学生発明工夫展審査会」が行われました。今年度は、村内の小中学生から合計61点の出品がありました。どれも「こんなものがあったら便利だな」、「生活に潤いをもたせたいな」など、日常生活を見つめ、創意工夫された作品ばかりで、今後の科学的な展開も見える作品も数多くありました。子どもたちの豊かな発想に審査員からも驚きの言葉が飛び出されたほどです。なお、入賞した作品のうち、12点が福島県発明工夫展に出品されました。一生懸命に取り組んだ子どもたちに感謝いたします。ありがとうございました。ぜひ、来年も応募してくださいね。



<審査員も感心しきり>

オートキャンプ世界大会で天栄の子どもたちが大活躍！

9月28日（土）から羽鳥湖高原を会場として開幕した「第89回 F I C Cオートキャンプ世界大会」。開幕初日には、天栄村の幼稚園児や小中学生がオープニングパレードや歓迎イベントに参加し、世界各国のキャンパーたちを鼓笛パレードや太鼓の演奏、吹奏楽の演奏などで歓迎しました。今回の参加にあたり、小学校の外国語授業で学んだことを基に作成した「英語版の天栄村紹介ポスター」や地域学習で中学生が作成した「ARグルメマップ」の掲示など、天栄村のよさを伝えようとする取組を行い、大会のスタートを大いに盛り上げていました。





生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択していけるよう、必要な学習環境を整え、村民の主体的な学習活動を支援出来るよう取り組んでいます。

○市町村対抗福島県軟式野球大会

13回目となる市町村対抗県軟式野球大会は、9月7日（土）に郡山市のヨーク開成山スタジアムで開会式が行われ、天栄村チームは9月21日（土）、小野町の小野あぶくま球場で、郡山市と対戦しました。初めての対戦相手との試合展開でしたが健闘むなしく、5回コールド0対8で敗退しました。



○寿大学（移動学習）

10月7日（月）寿大学の移動学習を行い、猪苗代町、天鏡閣、世界のガラス館猪苗代などを見学しました。参加した学生たちは明治時代のレトロな建物の中でしばし、ハイカラな雰囲気浸っていたようです。



○演芸大会

10月14日（月）、生涯学習センターで演芸大会が行われました。今回は太鼓、オカリナ、舞踊やカラオケなど多彩なプログラムで会場は終始、出演者をはじめ、観客とともに大いに盛り上がっていました。

